

あつまれ吉五郎一家 歩いて出会う旅マップ

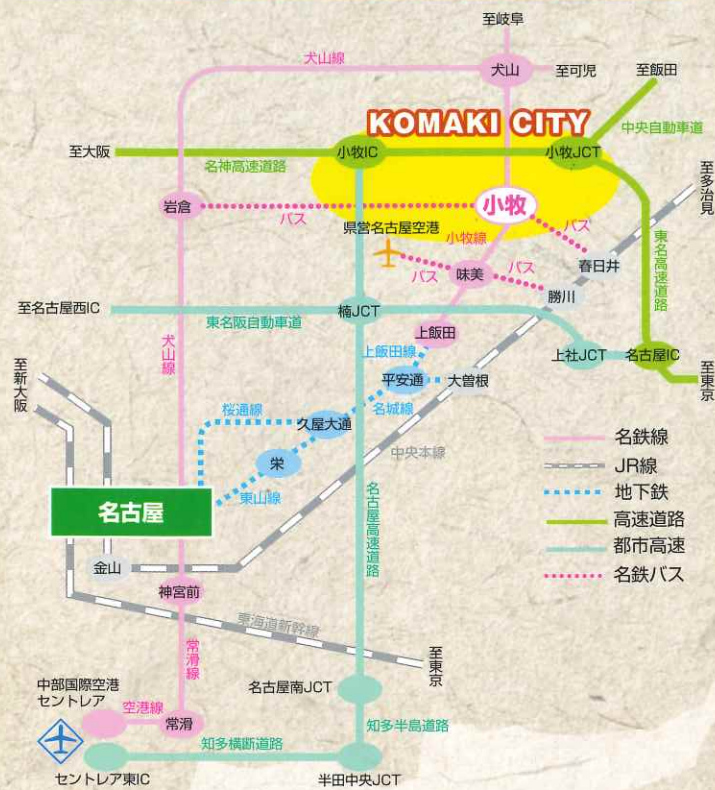
# 吉五郎伝説

小牧のむかしむかし



小牧市観光協会

## 小牧駅までのアクセスマップ



### ●公共交通をご利用の場合（名古屋駅からのご案内）

■電車をご利用の場合（名古屋駅地下鉄・名鉄小牧線経由）

名古屋地下鉄駅	東山線 6分	栄駅	名城線 9分	名鉄小牧線 16分
	桜通線 4分	久屋大通駅	名城線 10分	

■名鉄都市間高速バスをご利用の場合

セントレア	17分	栄	32分	小牧
-------	-----	---	-----	----

### ●自動車をご利用の場合

名神高速道路 小牧IC	南へ約1km 国道41号	交差点南へ	約2km	交差点北へ	約300m	小牧
名古屋高速道路 小牧南出口	北へ約2.5km 国道41号	交差点東へ		交差点北へ		小牧

小牧市観光協会  
小牧駅前観光案内所

〒485-0029 愛知県小牧市中央1-260

TEL.0568-39-6123

<http://www.komaki-kanko.jp/>



小牧山の昔話「きちごろう狐」を語る時、基本になるのは、『伝説・老狐小牧山吉五郎』（津田忠助・昭6刊）である。この著は、宝暦・天明（1751～1788）期が老狐譚の全盛期で、それを記したもの（旧鷹来村の旧家所有）と、「お梅、お初断片」（日本陣家記録）に、古老の昔話を交えて創作した、と津田が序に書いている。

お梅という美女狐をはさんで恋人山中藪の美男狐藤九郎と小牧山の吉五郎狐が恋の鞘当をし、吉五郎大一家（尾張一円）と、藤九郎・お梅連合軍との決闘までを小説風に描く。

このマップは、その著からと、現在の古老たちに取材したもの（約五十余話）から、代表的「きちごろう狐」話を選び、地図に落とした。

狐話が多い小牧は、狸話の多い四国と比べながら歩くとおもしろい。



「伝説・老狐小牧山吉五郎」挿し絵 津田 北暮 氏筆



尾張平野の東北部、北緯35度17分10秒、東経136度58分7秒に位置する。海拔85.9メートル、総面積210.599平方メートル。

秩父古生層の岩石が各所に露出。木曾川沿岸、本宮山一帯と同じ山系ではなかったか、尾張平野陥没の時に残った山地の頂上ではなかったか説がある。

タブノキ、オガタマノキの大木や、ユズリハ、アスカイノデなど暖帯海洋性の植物が多種繁茂する。縄文海の高進をあかさ証拠とも言われている。

永禄六年（1563）、織田信長が美濃進出の拠点として、初めての築城と城下町を造った。

天正十二年（1584）、織田信雄・徳川家康連合軍は、本陣を小牧山に敷き、楽田城に本陣をおく豊臣秀吉軍と対峙した。

「小牧山を制する者天下を制す」とつわものどもが夢の跡といわれる所以である。

多くの詩人が詠い、多くの小説家が今も舞台に使い続け、山を仰ぐ人の心の古里になっている。

## 史跡 小牧山